

# WHX Osaka

Formerly Japan Health

**Krishnawenda Duarsa**

会社・団体名

Kasih Ibu Hospital Bali

役職

President

 **Location** インドネシア

## プロフィール

Mr. Krishnawenda Duarsa は、カシ・イブ病院グループに入社後、初期のデジタル近代化の取り組みを主導しました。バリ島初となる数々の医療技術を導入し、グループをバリ島で初めて統合型電子カルテシステム（EMR）を全面的に導入した病院ネットワークへと導き、臨床精度とワークフロー効率の向上に貢献しました。社長兼取締役として、ACHSIやEMRAMステージ6といった主要な国際認証を取得し、国際的に認められた基準への準拠を証明することで、グループの信頼性を高めました。また、国際患者センターの設立を主導し、国内外の患者が円滑な医療を受けられるよう、連携とサービスの流れを改善しました。Duarsa氏は、国際的な連携と内部の臨床専門知識を融合させることで、グループ内の複数の専門センターの成長を継続的に推進しています。現在も、テクノロジー、パートナーシップ、そして業務改善を駆使し、グループ全体の患者サービスと病院全体のパフォーマンス向上に注力しています。

## 組織紹介

1987年に産科クリニックとして設立されたカシ・イブ病院は、1991年までに総合病院へと発展しました。現在、バリ島全域に戦略的に配置された4つの施設で、卓越した医療を提供しています。国際基準への取り組みを示すべく、同病院は最近、権威あるACHSI（オーストラリア医療基準国際評議会）の認定を取得しました。さらに、カシ・イブ病院はHIMSS EMRAMステージ6の認証も取得しており、これは正確かつ協調的な臨床意思決定を可能にする高度な集中型電子カルテシステムを反映しています。専用の救急医療センターと国際患者センターを通じて、患者ケアはさらに向上しています。バリ島屈指の医療機関としての地位を確立するため、カシ・イブ病院は過去7年間、世界的に著名な機関との国際的なパートナーシップ構築に尽力してきました。腫瘍治療、高齢者医療、形成外科、スポーツ医学、体外受精（IVF）における連携を通じて、同病院は臨床水準を継続的に向上させ、世界最高水準のデジタル先進医療をこの地域に提供することに誇りを持っています。